

Passing the Light

灯をつなぐ

第83回日本弱視斜視学会総会

募金趣意書

会 期： 2027年6月18日(金)～19日(土)

会 場： 天童ホテル

会 長： 林 思音（山形大学医学部眼科学講座）



ご挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第83回日本弱視斜視学会総会を、彦谷明子先生ご主催の第52回日本小児眼科学会総会と合同にて開催させていただくこととなりました。会期は2027年6月18日(金)、19日(土)の2日間、会場は山形県天童市の天童ホテルを予定しております。

本合同学会のテーマは「灯をつなぐ」といたしました。臨床や研究の現場で日々奮闘する医療者の努力、そこから生まれる気づきやひらめき、そして子どもたちの瞳に宿る未来への光—こうしたさまざまな「灯」を次へとつないでいくことが、本学会の目指す姿です。参加者一人ひとりがそれぞれの「灯」を胸に集い、互いに学び合い、高め合う機会となることを期待しております。

特別講演には、国立成育医療研究センター眼科部長であり、日本弱視斜視学会理事長を務めておられる仁科幸子先生をお迎えし、斜視・弱視診療におけるこれまでのご研究と臨床経験についてご講演いただく予定です。

また、米國小児斜視弱視学会(American Association for Pediatric Ophthalmology and Strabismus: AAPOS)との合同シンポジウムも企画しており、国内外の最新知見を共有する貴重な機会となることが期待されます。

会場となる天童市は天童温泉を有し、将棋駒の生産で知られる地域であり、開催時期はさくらんぼの最盛期にもあたります。学術的交流のみならず、地域の魅力にも触れていただける機会となれば幸いです。現在、彦谷先生とともに、より多くの皆様にご参加いただけるよう鋭意準備を進めております。

本来、学会の運営は参加費をもって賄うべきものではございますが、近年の物価上昇に加え、教育・研究の充実に努めるためには多大な費用を要するのが現状です。経費削減に努めておりますが、なお資金面でのご支援をお願いせざるを得ない状況にございます。

つきましては、本学会開催の趣旨にご賛同賜り、何卒格別のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2026年6月吉日

第83回日本弱視斜視学会総会
会長 林 思音
(山形大学医学部眼科学講座 准教授)



開催概要

1. 学会名称
第83回日本弱視斜視学会総会
公式ホームページ：<https://www.jasa-japo2027.jp/>
2. 会期
2027年6月18日（金）・19日（土）
3. 会場
天童ホテル
〒994-0025 山形県天童市鎌田本町2丁目1-3 TEL：023-654-5511
4. 参加人数
1,500名（予定） ※合同開催となる第52回日本小児眼科学会総会への参加者を含みます
5. 組織構成
会長：林 思音（山形大学医学部眼科学講座 准教授）
6. プログラム（予定）

日程	時	講演会場	展示会場
6月18日 （金）	午前	JASA-JAPO-AAPOS Joint Symposium、開会式	ポスター 器械展示
	昼	ランチョンセミナー	
	午後	日本弱視斜視学会総会、日本斜視弱視学会弓削賞受賞記念講演、 日本小児眼科学会特別講演、日本弱視斜視学会シンポジウム、 アフタヌーンセミナー、一般口演、	
6月19日 （土）	午前	モーニングセミナー、一般口演、視能訓練士プログラム 日本小児眼科学会総会、日本小児眼科学会賞受賞記念講演	ポスター 器械展示
	昼	ランチョンセミナー	
	午後	日本弱視斜視学会特別講演、日本小児眼科学会シンポジウム、 アフタヌーンセミナー、一般口演、閉会式、 日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会 合同講習会	

7. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて
各種共催申込に関しまして、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。
8. お問い合わせ先
第83回日本弱視斜視学会総会 第52回日本小児眼科学会総会 合同開催運営事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-4-7 スタッフルームタケムラ有限会社内
TEL：03-5287-3801 E-mail：jasa-japo2027@staffroom.jp

9. 収支予算

収入の部		
1. 参加登録費収入	早期	8,160,000
	事前	7,100,000
	当日／追加	1,450,000
2. 講習会		1,000,000
3. 理事懇親会		93,000
4. 共催費		8,140,000
5. 広告費		2,156,000
6. 出展料		3,355,000
7. 寄附金等		4,900,000
収入合計		36,354,000

支出の部	
1. 会場費	5,370,000
2. 機材費	4,956,000
3. 講習会運営費	1,650,000
4. 看板・設営費	4,355,000
5. 講師謝礼金	2,000,000
6. 印刷費	3,800,000
7. 当日運営費	4,320,000
8. 会議費	4,540,000
9. ホームページ費	495,000
10. 郵送費	600,000
11. 業務委託費	3,460,000
12. 事後処理費	330,000
13. 予備費	478,000
支出合計	36,354,000

寄附金募集要項

- 募金の名称 第83回日本弱視斜視学会総会
- 募金目標額 1,000,000円
- 募金期間 2026年6月5日（金）～2027年6月17日（木）
※2027年5月以降のお申込は、プログラム・講演抄録集に企業名の掲載が出来ない場合があります。
- 寄附金の使途 第83回日本弱視斜視学会総会の準備、及び運営経費
- 募金責任者 林 思音（山形大学医学部眼科学講座准教授）

■ 寄附金を必要とする理由

本学会には約1,500名の参加者が見込まれていますが、会議の準備、運営に要する費用は、総額約36,354千円が必要と推算され、その不足は覆うべくもなく、諸団体および諸企業の方々のご支援を仰がざるを得ないのが実状でございます。つきましては、上記の趣旨をご理解いただき、何卒、貴社の御支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげ次第です。諸費用ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、重ねて皆様のご支援、ご協力の程、お願い申し上げます。

■ お申し込み方法・お申し込み期限

オンラインによるお申込となります。本総会ホームページの、[企業の皆様へ] ページより、お申込みください。

なお、ご寄附をいただきました企業様には、プログラム・講演抄録集への企業名記載を予定しておりますが、2027年5月以降にお申し込みをいただきました企業様につきましては、企業名の記載が対応出来ない場合がございますので、予めご了承ください。

■ 寄附金口座：下記の口座へお振り込みください。

振込先銀行：東京信用金庫 高田馬場支店 普通 4137191

第83回日本弱視斜視学会総会（カ 183カ仁ホジヤクシヤンガ ヲカイ）

※寄附金に対する免税措置はご用意しておりませんので、予めご了承ください。

また、寄附金に対する請求書の発行は行っておりませんので、ご承知おきください。

■ お申し込み・お問い合わせ先

第83回日本弱視斜視学会総会 第52回日本小児眼科学会総会 合同開催運営事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-4-7 スタッフルームタケムラ有限会社内

TEL：03-5287-3801 E-mail：jasa-japo2027@staffroom.jp